

(6) 自動火災感知設備

住宅の建て方別自動火災感知設備のある住宅数をみると、東京都の平成20年の自動火災感知設備の設置住宅数は299万戸で、平成15年と比較すると107万戸増加している。

また、平成20年の設置率についてみると、東京都は50.3%となり、全国の45.0%に対し5.3ポイント高い。

住宅の建て方別自動火災感知設備設置率をみると、平成15年から平成20年にかけて14.9ポイント上昇している。

さらに、平成20年の内訳をみると、一戸建は31.0%、長屋建は29.3%、共同住宅は58.7%、その他は36.5%で、共同住宅での設置率が高い。(表6、図6)

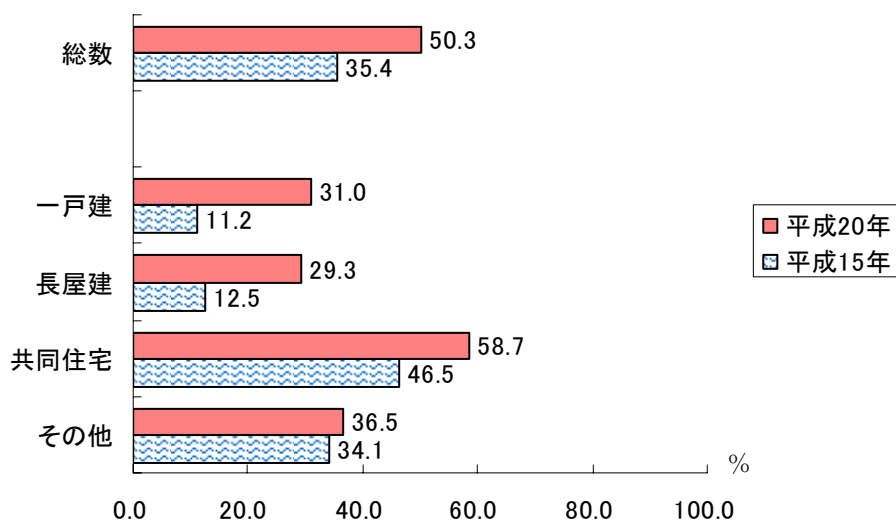
表6 住宅の建て方別自動火災感知設備のある住宅数—東京都（平成15年・20年）

(単位:戸、%)

	全 国	東京都					
	平成20年	平成20年			平成15年		
	自動火災感知設備の設置率	居住世帯のある住宅数	自動火災感知設備あり		居住世帯のある住宅数	自動火災感知設備あり	
	設置住宅数		設置率	設置住宅数		設置率	
総 数	45.0	5 939 900	2 987 100	50.3	5 434 100	1 921 700	35.4
一戸建	31.1	1 686 500	522 400	31.0	1 608 700	180 000	11.2
長屋建	33.8	93 700	27 500	29.3	101 100	12 600	12.5
共同住宅	64.1	4 134 900	2 428 200	58.7	3 697 600	1 720 100	46.5
その他	39.1	24 900	9 100	36.5	26 700	9 100	34.1

注) 設置率とは、居住世帯のある住宅数に占める自動火災感知設備のある住宅の割合を示す。

図6 住宅の建て方別自動火災感知設備設置率—東京都（平成15年・20年）



注) 自動火災感知設備（住宅用火災警報機器等）は、平成16年6月に消防法の改正により設置が義務づけられた。新築住宅は平成18年6月から、既存住宅は市町村条例で定める日から適用となっている。東京都の場合、平成22年4月から義務付けられた。